

瀬戸内市(岡山県)の一体的実施

平成24年3月30日事業開始

市役所庁舎内に「ジョブスポットせとうち」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者、障がい者、若年者及び子育て女性等に対する一体的支援等を実施

市

福祉サービス、相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等



① 事業内容

- ・市とハローワークの担当で「就労支援チーム」を結成し、生活保護受給者・障がい者、若年者及び子育て女性等に対する就労支援を実施(利用者に応じた「就労支援プラン」を策定)
- ・就職面接会や遠隔地での出張相談を実施

② 協定・事業計画

- ・瀬戸内市長とハローワーク西大寺所長の協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を瀬戸内市とハローワーク西大寺の間で策定

* 本協定は、緊密な相互連携に基づく就労支援を実現することにより、支援対象者の早期再就職による自立の実現を図ることを規定

③ 事業実施協議会

- ・瀬戸内市職員、ハローワーク西大寺職員をメンバーとする事業実施協議会を設置

市役所内の「ジョブスポットせとうち」で、市と国の協働で「就労支援チーム」を結成し、付き添い型の綿密な支援を実施し、福祉から就労への支援を実現

(1) 実施体制

市

- ・ 就労支援員1名を配置

国(ハローワーク)

- ・ 就職支援ナビゲーター1名、職業相談員2名を配置
- ・ 求人情報提供端末2台、職業紹介端末3台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	6年度事業目標	取組状況(7年3月末時点)
生活保護受給者等	○ 支援対象者数 21人 ○ 就職者数 7人 ○ 就職率 33.3%	○ 支援対象者数 26人 ○ 就職者数 11人 ○ 就職率 42.3%
	(参考)5年度事業目標 ・支援対象者数 21人 ・就職者数 8人	(参考)5年度取組状況 ・支援対象者数 21人 ・就職者数 7人
障がい者	○ 支援対象者数 33人 ○ 就職者数 16人 ○ 就職率 48.5%	○ 支援対象者数 44人 ○ 就職者数 16人 ○ 就職率 36.4%
	(参考)5年度事業目標 ・支援対象者数 29人 ・就職者数 21人	(参考)5年度取組状況 ・支援対象者数 44人 ・就職者数 16人
子育て女性等	○ 支援対象者数 75人 ○ 就職者数 44人 ○ 就職率 58.7%	○ 支援対象者数 80人 ○ 就職者数 27人 ○ 就職率 33.8%
	(参考)5年度事業目標 ・支援対象者数 66人 ・就職者数 47人	(参考)5年度取組状況 ・支援対象者数 88人 ・就職者数 44人
市に居住する求職者等	○出張相談 5回 ○就職面接会 1回	○出張相談 0回 ○就職面接会 1回
	(参考)5年度事業目標 ・出張相談 5回 ・就職面接会 1回	(参考)5年度取組状況 ・出張相談 0回 ・就職面接会 0回



瀬戸内市とハローワーク西大寺の一体的就労支援の実施について

瀬戸内市長 武久顕也

岡山県瀬戸内市(人口:約3万6千人)

<市長のコメント>

瀬戸内市は人口約3万6千人の小さな町ですが、ある新聞社の「住みやすさランキング」で県内一位に選ばれたことがあります。

平成24年3月30日に「ジョブスポットせとうち」が開所され、以来、本事業の主な対象者である生活保護受給中の方への自立支援の一環として、就労支援を行い保護から脱却の成果を見ているところです。その結果、全国的に生活保護受給者の方が増える中、本市は県内各市で保護率が一番低い状況です。

さらに、市内地域生活支援センターとも連携し、障害をお持ちの方の就労支援や母子・父子家庭、子育て前後のお母さん等も身近に利用できる場所として市役所内に併設された「ジョブスポットせとうち」で市の相談から就労まで一貫した支援が効果的に行われています。

また、「ジョブスポットせとうち」のPRに努めるなどし、利用者も増加しているところです。これも本事業推進の結果であると深謝しています。

今後とも、雇用施策の担い手である西大寺公共職業安定所と福祉の担い手である市保健福祉部が、情報交換等より綿密に連携を取って「ジョブスポットせとうち」を効果的に運営し、就労支援の観点から利用者の社会的な居場所づくりのために、より一層取り組んでまいります。

一体的実施事業による就職成功例

女性：20歳代（生活困窮者）

希望職種：接客・販売

① 抱える課題

- ・実父は無職。実母は社員として勤務も消費者金融から多額の借り入れあり。弟は一人は障害者、一人は小学校就学前。
- ・本人は高校卒業後、進学を希望も断念。アルバイト就労をしていたが、母親から金銭の無心があり手元に残るお金はごくわずか。家賃滞納による退去回避のため総合支援資金特例貸し付けを利用し滞納分の家賃を返済。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・瀬戸内市福祉課と連携し相談を繰り返した。世帯員それぞれ各支援機関が関わっており、必要に応じて情報共有。
- ・運転免許未所持のため電車で通勤可能な場所を選定。応募書類の添削、模擬面接を複数回実施。
- ・アルバイトで経験したサービス業を中心に、正社員を目指すという目標を掲げた。

③ 結果

- ・不採用が続いたが、正社員としてホテルのフロント業務に就職が決定。

○ ハローワーク担当者の所感

- ・本人にとっては初めての就職活動で戸惑いがあった様子だったが、素直にアドバイスを受け入れていた。
- ・週1回は市の担当者と三者面談し、応募先の検討、書類の添削等を継続したことが結果に結びついた。

○ 本人のコメント

しっかりとお金を貯めて一人暮らしができるよう頑張ります。

一体的実施事業による就職成功例

男性：20歳代（生活困窮者）

希望職種：検品作業

※前職なし

① 抱える課題

- ・大学受験失敗を契機にひきこもりとなる。母親に暴力を振るいその結果、実家では暮らす事が出来ず伯父を頼りに土地勘がない瀬戸内市に転居。過去1日、2日の短期アルバイトの経験はあるが、継続した就労経験はない。
- ・自動車免許も含め資格はない。居住地の関係で公共交通機関の利用もままならない。
- ・非常に口数が少なく、必要最低限の会話しか出来ない。また、清潔感がない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・瀬戸内市福祉課と連携し、支援員同席のもと相談を実施した。まずは、身なりの整えから支援開始。
- ・長期間就労から離れているため、トライアル雇用への応募、住み込みでの就業、事業所見学等を提案した。
- ・面談を重ねていくうちにこちらの提案も受け入れてくれるようになる。採用面接時に耐えられる身なりに変化。

③ 結果

- ・生活習慣の改善アドバイス、応募書類の添削、面接指導等を実施。金銭的困窮もあり、交通費の捻出にも難があった為、自転車で通える範囲に絞り応募。数回の面談、面接練習をする事により、現状を認識することができるようになった。パートではあるが自転車通勤ができる事業所へ客室清掃の採用が決まった。

○ ハローワーク担当者の所感

- ・まずは、身なりの整えに時間はかかったが、本人自身就労向けての意欲は高かった。対人の不安を少しでも解決すべく、次回面談予約のほか、電話で定期的に近況確認をすることで、少なからず信頼関係を構築できたと思う。モチベーションを下げないように定期面談も結果に繋がったと思う。

○ 本人のコメント

「未経験職で不安はありましたが、職場環境もよく、自宅から近いので負担も少ない。いずれはフルタイムで勤務できるよう頑張ります。」との力強い発言があった。